

競 技 注 意 事 項

1 規則

- ・本大会は2023年日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習

- ・練習は補助競技場又は競技場内で競技の支障がないように注意して行う。補助競技場の利用できる時間は14時30分～17時迄である。 ※公園内など競技場外での練習は一切禁止とする。
- ・練習は競技役員への指示に従い、危険防止に努めること。

3 競技場

- ・競技場の開門時間は、14時30分である。
- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。走路の保全と競技者の安全のために、WA 競技規則 TR5を参照されたい。
- ・競技用シューズについてはWAの新規定を適用する。(ソールの最大厚さ25mm)

4 招集

- ・招集は、スタンド下・役員室2(競技者係)で行う。
- ・招集時刻は競技開始35分前から20分前迄である。競技日程を参照のこと。
- ・招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。
- ・選手は役員室2:競技者係において、特別ナンバーカード(胸、背)および腰ナンバーカード(3000mは1種類、5000m, 10000mは2種類)を受け取り、安全ピンで結着しておくこと。
- ・選手は競技開始10分前に、各競技場所にて最終点呼を受ける。

5 ナンバーカード

- ・ナンバーカードは、役員室2(競技者係)にて配布する。
- ・3000mについては、特別ナンバーカード(背、胸)・腰ナンバーカードが渡されるので、これを結着する。フィニッシュ後、各自持ち帰ること。5000m、10000mについては、特別ナンバーカード(背、胸)・写真判定用の腰ナンバーカード・周回確認用のチップの付いた腰ナンバーカードを渡されるので、写真判定用は右腰に、周回確認用は左腰に結着する。フィニッシュ後、左腰の周回確認用は本部に返却し、右腰の写真判定用および特別ナンバーカード(胸、背)は各自持ち帰ること。
- ・3000mの競技者は安全ピンを12本、5000m、10000mの競技者は安全ピンを16本各自で用意すること。

6 トラック競技の走路順について

- ・トラック競技の走路順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・男子5000mは、グループスタートとする。

7 計時

- ・計時は電気計時(100分の1秒)とする。
- ・各種目の競技結果は、記録室前に掲示と通告及びWEB上で確認してください。

8 抗議

- ・WA 競技規則 TR8によって行うこと。

9 その他

- ・プログラムに訂正等ある場合には、本部庶務係まですみやかに連絡すること。
- ・競技会で発生した傷害については、主催者側で応急処置をする。以後の治療等は各自の責任において行うこと。
- ・更衣室は、更衣のみに使用し、シートを敷くことを禁止とする。
- ・競技運営上、著しく遅れた選手に対して競技を中止させる場合がある。
- ・10000mにおいては、レース打ち切り時間を設ける。次の時間内に、最終周回に入っていること。
「 38' 00" 00 」
- ・競技場内に商品名、会社名のついたものを持ち込むことは、日本陸連の「競技会における広告および展示物に関する規程」に抵触するのでつつしむこと。
- ・競技終了後、自席の清掃をすること。なお、各自のごみは、持ち帰ること。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。